

こじょうライブラリー

第 86 号
2017. 1. 1
名古屋市高年大学
鯉城学園図書室報

ゆるい時間

高校を卒業して茶道を始めました。着物が好きで着る機会があればよいという気持ちと、友人の家の前が先生の家という近さのせいでした。今のように教室という感じではなく、近所のおばさんに教えていただくという気安さもありました。18歳の私からは、先生がずーっと年上に見えていましたが、その頃はまだ30歳を過ぎたばかりだったようです。

土曜日の夕方1～2時間のお稽古の後、友人の家で今でいう“女子会”が楽しみでした。私のほかに2人習っていて皆で4人、そこのお兄ちゃん（ちい兄）も一緒に9時頃まで尽きることはない話で笑い転げたり、布団にくるまったり、特にちい兄は手芸が得意でよく教わりました。

そのうち結婚する相手と出会い、楽しい時間の過ごし方が変わってきました。

あれから20年がたち、友人から正月の初釜に誘われ、久しぶりに先生とお会いする機会に恵まれました。私たちが先生にとって初弟子だったようで、特別OB枠で初釜だけ正装して、お茶の時間を楽しむことが許されました。女子会もです。

10年前に先生がお亡くなりになった時はとてもショックで、私の昭和が終わった気がしたものです。20年たった今、友人が茶室をつくり、楽しい時間もつくってくれたのです。私も66歳になり、正座が難しく小さな椅子をひいてお点前をします。不思議なもので、18歳の時に覚えたお点前もなんとかでき、我ながら満足だったのですが、繰り返すうちにあやふやになり、一から習い始めた彼女の義理の妹の方がうまくなっていきました。

茶室にいる静かな時間はとても心が落ちつき、月に2回程のゆるい時間を楽しんでいます。

実家も近いので、90歳になる母親にも会えて一石二鳥です。その母がすすめてくれた本が「きくち体操」です。「私たちの体は、最後まで歩けるようにできているのです。」と表紙に書いてありました。

お茶を楽しむ“ゆるい時間”、本を読むことができる“ゆとりの時間”、歩くことができる“喜び”を、これからも大切にしていきたいと思えます。

(31期文化 A 太田悦子)

※ 本や図書館にまつわる投稿を700字程度でお待ちしております。

詳しくは事務室の図書係までお問い合わせください。

※ よく読まれている本 ・老後親子破産…NHK スペシャル取材班 ・うちのご近所さん…群よう子 ・希望荘…宮部みゆき ・半席…青山文平 ・ままならないからあなたと私…朝井リョウ ・海の見える理髪店…萩原浩 ・大阪のおばちゃんの逆襲…源祥子 ・裸の華…桜木紫乃 ・アンマーとぼくら…有川浩 ・天下人の茶…伊東潤 ・玉依姫…阿部智里 ・ガラスの太陽R…譽田哲也 ・ジャッジメント…小林由香 ・コーヒーが冷めないうちに…川口俊和 ・終わった人…内館牧子 ・帰郷…浅田次郎 ・防諜捜査…今野敏 ・コンビニ人間…村田沙耶香 ・羊と鋼の森…宮下奈都

※ 10月～12月の図書室利用状況

	入室者数	貸出数
1年	353	244
2年	376	293
OB	594	622
合計	1,323人	1,159冊

新刊図書（10月～12月）

著者名	著書名	出版社名
有川 浩	アンマーとぼくら	講談社
東野 圭吾	危険なビーナス	講談社
桐野 夏生	猿の見る夢	講談社
新海 誠	君の名は	角川文庫
橘 玲	言っではいけない 残酷すぎる真実	新潮社
佐藤 愛子	90歳。何がめでたい	小学館
村田 喜代子	人の樹	潮出版
月村 了衛	黒涙	朝日新聞出版
道尾 秀介	スタフ	文芸春秋
畠中 恵	まことの華姫	KADOKAWA
高橋 幸枝	こころの匙加減	飛鳥新社
下村 敦史	失踪者	講談社
松井 今朝子	料理通異聞	幻冬舎
二宮 敦人	最後の秘境 東京芸大	新潮社
梶山 三郎	トヨトミの野望	講談社
東野圭吾	恋のゴンドラ	実業之日本社

鯨城会図書ボランティアの皆様からの寄贈新刊図書（7月）

著者名	著書名	出版社名
原田 マハ	リーチ先生	集英社
柚月 裕子	慈雨	集英社
高殿 円	上流階級 富久丸百貨店外商部Ⅱ	光文社
八木 龍平	成功している人はなぜ神社にいくのか	サンマーク出版
阿川 佐和子	強父論	文芸春秋
中島 芭旺	見てる、知ってる、考えている	サンマーク出版
朝井 リョウ	何様	新潮社
森見登 美彦	夜行	小学館
にしの あきひろ	えんとつの町のペル	幻冬舎
大下 武	朝日文左衛門と歩く名古屋のまち	ゆいほおと
J. K. ローリング	ハリーポッターと呪いの子	静山社
佐藤 愛子	人間の煩惱	幻冬舎
山崎 ナオコーラ	美しい距離	文芸春秋
貫井 徳郎	壁の男	文芸春秋
京極 夏彦	虚実妖怪百物語	KADOKAWA

